



45022-XK6 -K200 SPORTS PAD SET Type TOURING for HONDA STEPWGN

取扱説明書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。



注 意

- 当製品には、ウェアインジケータ(ブレーキパッド残量警告装置)が装着されておりません。定期的にパッドの残量、その他異常がないか点検して下さい。
万一異常が認められた場合は、大変危険ですのでご使用を中止して下さい。
※残量が2mm以下になったら必ず交換して下さい。
- 摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。
- 交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。
- 当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。
- ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

当製品の特性

○純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。



45022-XK6 -K200 SPORTS PAD SET Type TOURING for HONDA STEPWGN

取 付 説 明 書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご 注 意

1. 開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしておりますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。
[適応車種] ステップワゴン RF3・4・5・6・7・8
3. ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

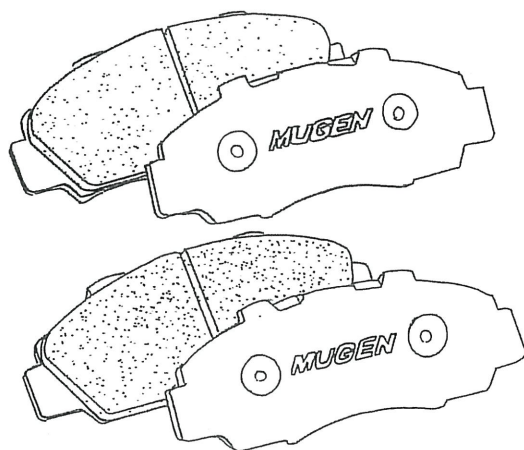
Tel. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121



警 告

- 走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。
- パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー(繊維質)が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。
- パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

【構成部品】

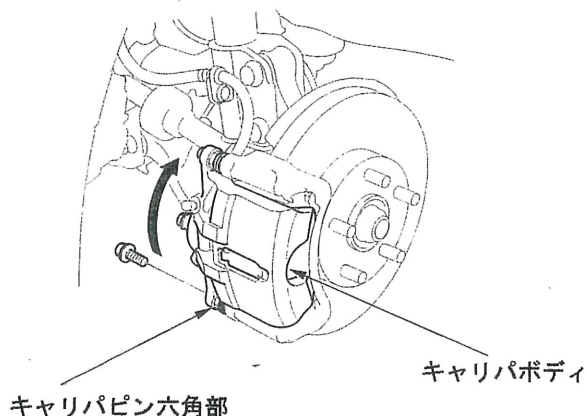


取付・
取扱説明書

フロントブレーキパッドの交換

注意: ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

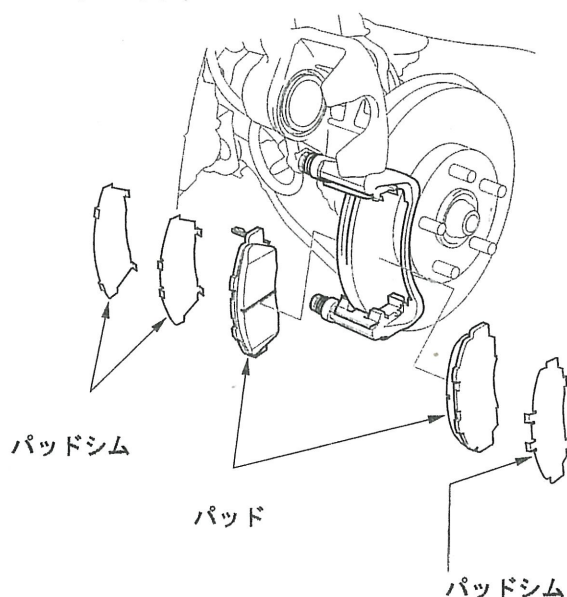
- ① キャリパ ピン六角部をレンチで保持して下側のフランジ ボルトを外し、キャリパ ボディを持ち上げる。



- ② キャリパ ボディを針金等で固定する。

注意: ブレーキ ホースでキャリパを吊り下げないこと。
また、ブレーキ ホースをブラケットおよび周辺部で損傷させないこと。

- ③ キャリパ ブラケットからパッドとパッド シムを取り外す。



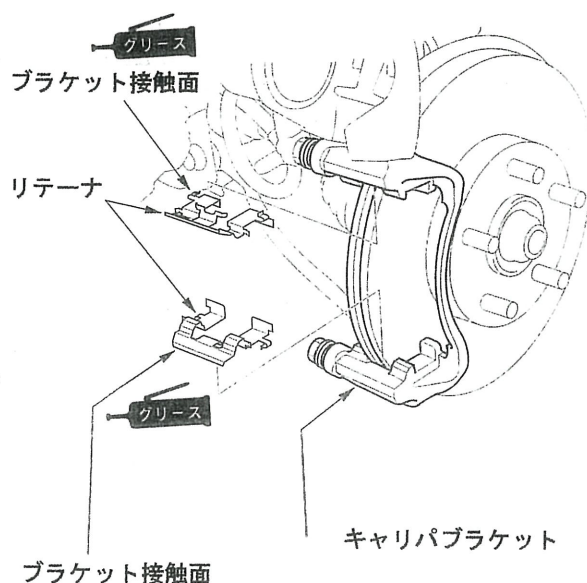
- ④ リテーナを取り外し、清掃する。

- ⑤ キャリパ ブラケットを清掃する。

- ⑥ リテーナのブラケット接触面にモリコートM77 グリースまたはダイカルブ528D グリースを塗布し、リテーナを取り付ける。

注意: 装着時、リテーナからグリースがはみ出さないようにすること。

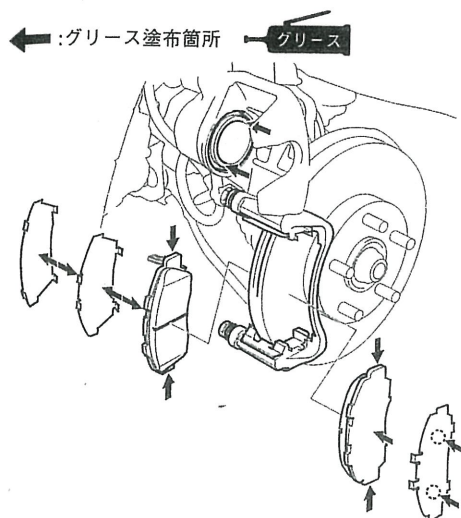
注意: ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。



- ⑦下図の矢印で示した箇所にモリコートM77グリースまたはダイカルブ528Dグリースを塗布する。

注意: シム装着時、パッドとシムからグリースがはみ出さないようにすること。

注意: ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

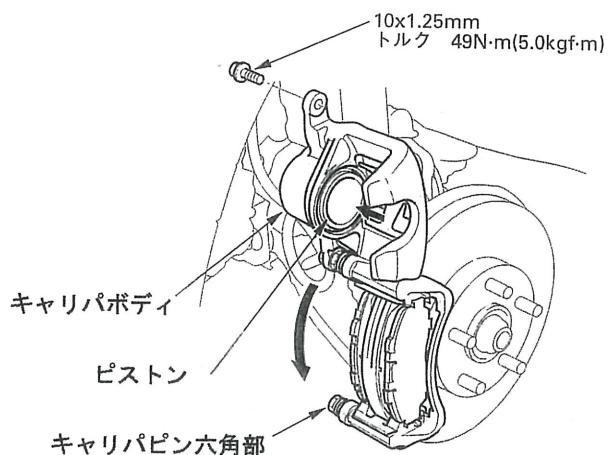


- ⑧シムを取り付けたパッドをキャリパブラケットに取り付ける。

- ⑨キャリパ ボディを清掃し、ピストンを静かに押し込む。

※マスタ シリンダのリザーバ タンクからフルードがあふれてないか確認すること。

- ⑩キャリパ ボディを元の位置に戻し、キャリパピン六角部をレンチで保持して10mmフランジボルトを締め付ける。



- ⑪ブレーキ ペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

注意: ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。

- ⑫マスタ シリンダ リザーバタンクのブレーキフルード量を点検する。

- ⑬取り付け後、ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。